

吉井つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年

6	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	6	11	土	8:30	14:30	高倉市民の森	20名
活動名称						高倉里山体験会	
						報告者: 吉井 優	

1、活動目的

私達が散策路と小川の清掃活動を行っている高倉市民の森は、鶴ヶ島市では最大面積の樹林地を有しています。森の中央を気持ちよい小川の飯盛川が横切っています。この森は未整備部分が残し、放置すると人を拒む自然に変化することが観察できます。様々な自然環境を持つ高倉市民の森が、未来に残す価値を持つ大切な森であることを理解してもらおう。

2、活動内容ほか

コロナ禍自粛がおちついてきて、多くの参加者を期待したが、新町小学校の登校日と重なり、大盛況とはならなかった。それでもツリーイングは、事前受付開始1分で定員となり、開催日には、しっかり楽しんでもらえた。ハンモックと綱渡りは、待つことなく好きなだけ楽しめた。魚とりを1回開催した。魚は取れなかったが、水深が浅く、水もきれいで川遊びの環境としては、絶好の条件であり、おおいに楽しんでもらった。

3、評価:

ツリーイングは、鶴ヶ島の里山体験会の目玉企画であり、小さな子どもたちが10m以上の高い枝まで登っていくところを見ると、これこそ里山環境でできる最高の体験活動だと言える。今回も、1時半から予約した10名のために、天気予報を確認して雨は大丈夫と判断し最後までやり遂げた。良い判断だったと思う。

2019年も新町小学校の運動会と重なり、50名をきる子どもの参加数となり、寂しいおもいをしたが、今回は登校日と重なったが、新町小学校以外と、市外の方が参加して、子ども74名で、そこそこの人数を確保できた。

4、課題

昨年まで、6月第1週の土曜日が新町小学校の運動会だったため、第2週に開催日を決めたが、今年は第2週が登校日になっていた。来年は、4月早々に小学校の登校日を確認することにする。

1時すぎにカミナリがなり、あわてて中止を叫ぶ方がいて、雰囲気にもまれ、自由解散になってしまった。運用に関する事は、参加している会員で相談し、代表理事、不在の場合は、イベントの責任者が判断するため、勝手に中止を叫ばないでほしい。

ハンモックのロープが外れハンモックが落下するトラブルが起きた。一二三富の会の担当によると、カラビナとロープを結ぶ、「ひとえつぎ」の縛り方で、外すためのロープが長く、ハンモックに乗っていた子どもが引っ張ったため、結びがほどけたためとのこと。縛ったロープの処理を子供が触れない様にするか、簡単にほどけない結び方を次回から検討する。

<里山参加会員>

脇谷、内藤、小沼、大森、小澤邦、小嶋、大森、松井、牛島、坂木
吉井、柳川、笹崎、杉山、佐野英、橋本、阿部、田中、木部、吉富

<活動写真>

